

第 107 回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成 27 年 7～9 月期実績・平成 27 年 10～12 月期見通し)

1. 調 査 時 点 平成 27 年 7 月 1 日～9 月 7 日
2. 調査対象企業数 173 社中回答 173 社 回答率 100.0%

区 分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率 (%)
製 造 業	従業員 300 人以下	39	39	100.0
建 設 業	〃	42	42	100.0
卸 売 業	従業員 100 人以下	7	7	100.0
小 売 業	従業員 50 人以下	54	54	100.0
サービス業	〃	31	31	100.0
合 計		173	173	100.0

3. 調 査 方 法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分 析 方 法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・D I 値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課（TEL. 0146－22－4100、内線 621）
〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 番地 2

全業種総合 173 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

今期（平成 27 年 7～9 月期）の業況判断 D. I. は△13.9 と、前期（平成 27 年 4～6 月期）比 15.6 ポイント上昇で、改善した。前年（△33.5）比でも 19.6 ポイント上昇、前期（平成 27 年 4～6 月期）調査時点での今期（平成 27 年 7～9 月期）見通し（△24.7）を 10.8 ポイント上回る水準となった。業種別には、製造 2.5（前期△17.9）、建設△4.8（同△16.6）、卸売△57.2（同△71.5）、小売△22.1（同△37.0）、サービス△22.6（同△38.7）となった。

売上額判断 D. I. 0.5 は前期比 15.5 ポイント、収益判断 D. I. △4.6 は同比 13.4 ポイント、ともに持ち直した。

来期（平成 27 年 10～12 月期）の予想業況判断 D. I. は△14.4 と、今期実績比 0.5 ポイントの下降で、今期並みの見通しとなった。業種別にみると、製造 12.8、建設△19.0、卸売△28.6、小売△20.3、サービス△29.0 と来期を見通している。

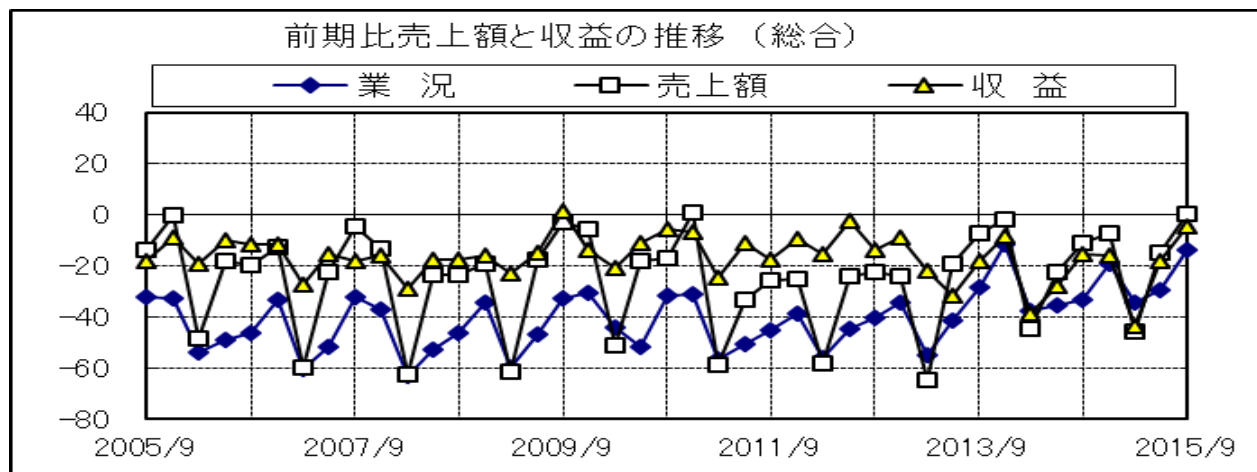
【業種別天気図】

時 期 業 種	地 区 内				北 海 道	全 国
	27 年 1 月～3 月	27 年 4 月～6 月	27 年 7 月～9 月	27 年 10 月～12 月見通し	当 期	当 期
総 合						
製 造 業						
建 設 業						
卸 売 業						
小 売 業						
サ ー ビ ス 業						
好調 ← → 低調 この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。						

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-34.2	-29.5	-13.9	-14.4
売上額	-45.7	-15.0	0.5	-6.3
収 益	-43.4	-18.0	-4.6	-12.7

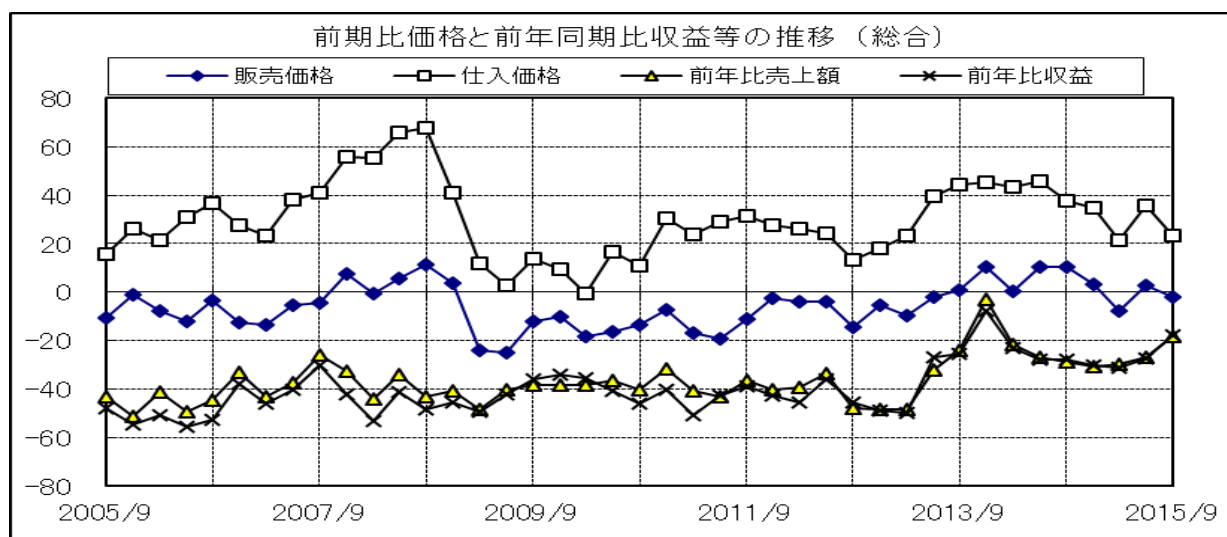
全業種総合の今期の業況判断D. I. は△13.9 と、前期比 15.6 ポイント上昇で、改善した。地区別のD. I. は、高い順に、広尾、えりも、三石、様似、静内、浦河となった。業況判断D. I. は前年 (△33.5) 比では19.6 ポイント上昇した。売上額判断D. I. は0.5 と前期比 15.5 ポイント上昇、収益判断D. I. は△4.6 と同比 3.4 ポイント上昇した。



□ 価格面、前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販 売 価 格	-7.5	2.8	-2.2	-0.5
仕 入 価 格	21.4	35.8	23.2	20.3

販売価格判断D. I. は△2.2 と、前期比 5.0 ポイント下降で、厳しさを強めた。仕入価格判断D. I. は23.2 と、前期比 12.6 ポイント下降し、落ち着きを見せた。業種別にみると販売価格は、全ての業種で下降した。仕入価格も卸売業が横這いとなったのを除き全ての業種で下降した。販売価格は前年 (10.4) 比で12.6 ポイント、仕入価格は前年 (37.6) 比で14.4 ポイントそれぞれ下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残 業 時 間	-13.8	-8.2	-2.8	-0.5
人 手 状 況	-6.3	-8.1	-13.3	-14.4

残業時間判断D. I. は△2.8 と、前期比 5.4 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合は減少した。

人手過不足判断D. I. は△13.3 と、前期比 5.2 ポイント下降し、人手不足感を強めた。

□ 設備投資の動き

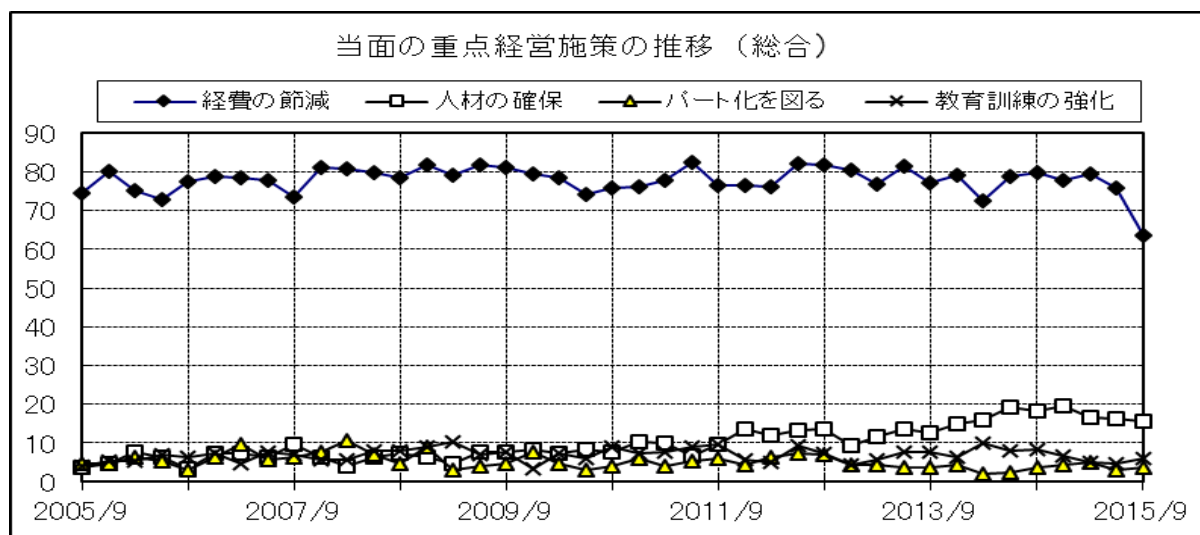
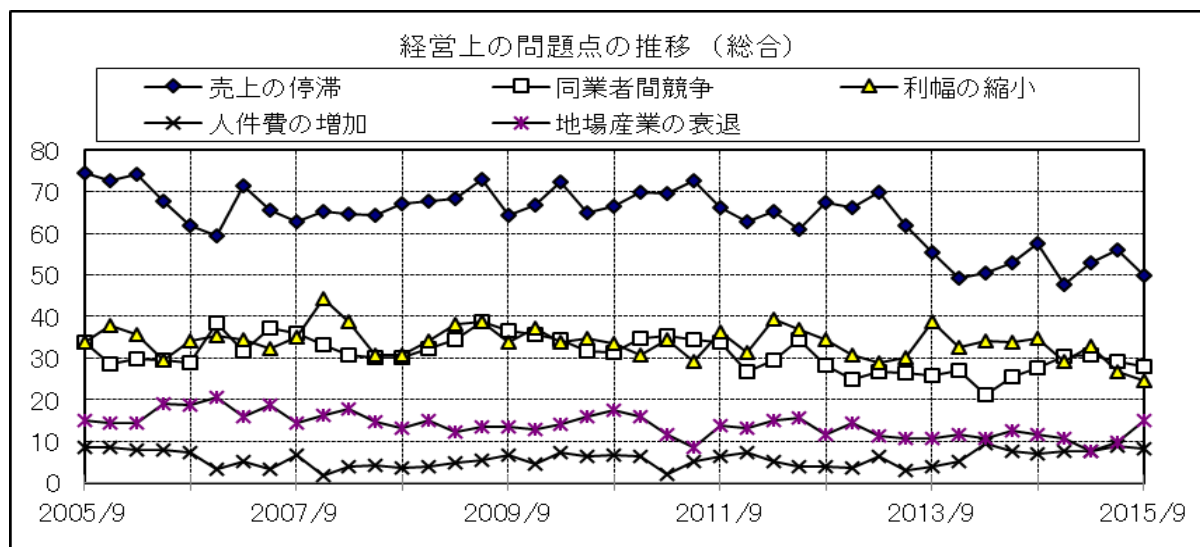
設備投資の充足感を示すD. I. は△14.4と、前期比5.7ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は21.4%と、前期比7.5ポイント上昇、37社の実施となった。来期の設備投資は、19社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が49.7%で最も多く、「同業者との競争」28.1%、「利幅の縮小」24.6%、「地場産業の衰退」15.2%と続いた。

重点経営施策では、「諸経費の節減」が63.7%で突出している。次に「人材の確保」15.5%、「教育訓練を強化」6.0%、「パート化を図る」が3.6%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△14.4と、今期比0.5ポイントの下降で、今期同様の水準を見通している。

予想売上額判断D. I. は△6.3と、今期比6.8ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△12.7と、今期比8.1ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は△0.5と、今期比1.7ポイントの上昇を見通している。

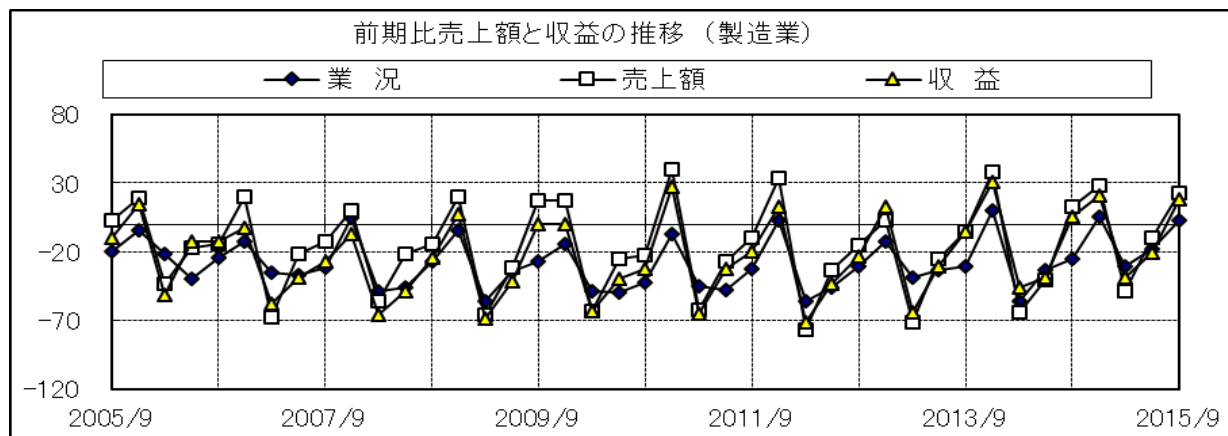
予想仕入価格判断D. I. は20.3と、今期比2.9ポイントの下降を見通している。

製 造 業 39 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-30.8	-17.9	2.5	12.8
売上額	-48.7	-10.3	23.0	15.4
収 益	-38.5	-20.6	18.0	25.6

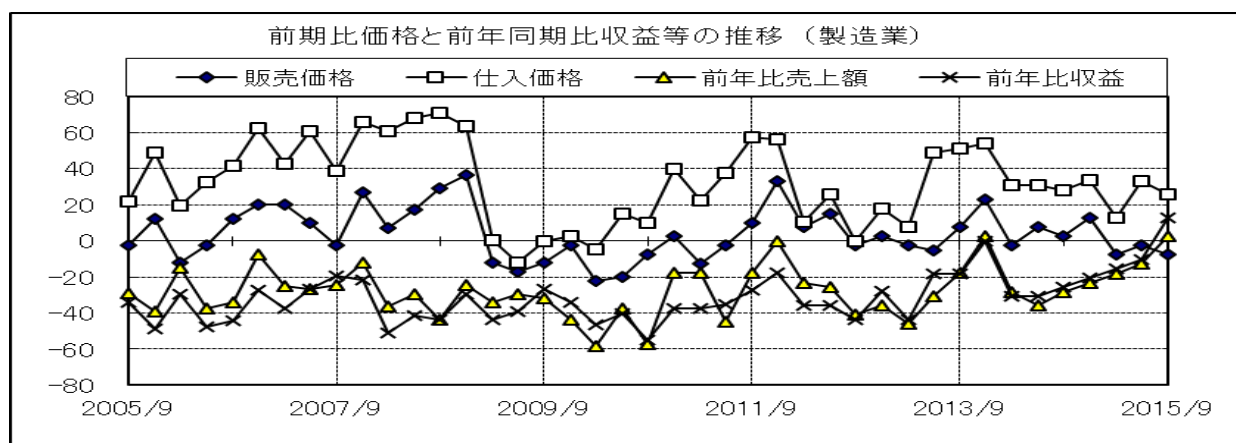
今期の業況判断D. I. はプラス値に転じ2.5、前期比20.4ポイントの上昇で改善した。地区別のD. I. は、高い順にえりも、広尾、次に浦河・静内様似が同値で並び、三石が最も低い水準となった。前年(△25.6)比では28.1ポイント上昇した。売上額判断D. I. は23.0で前期比33.3ポイント上昇、収益判断D. I. も18.0と同比38.6ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	-7.7	-2.5	-7.7	7.6
仕入価格	12.8	33.3	25.7	28.2

販売価格判断D. I. は△7.7と、前期比5.2ポイント下降、前年(2.6)比では10.3ポイントの下降となった。仕入価格判断D. I. は25.7と、前期比7.6ポイント下降、前年(28.2)比でも2.5ポイント下降した。業種別に見ると、食品は販売価格、仕入価格ともに下降した。木材は販売価格が上昇し仕入価格は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-20.6	-0.1	7.6	15.4
人手状況	5.1	-5.1	-15.4	-25.6

残業時間判断D. I. はプラス値7.6と、前期比7.7ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合から、増加したとする企業割合へ転じた。

人手過不足判断D. I. は△15.4と前期比10.3ポイント下降、人手不足感が強まった。

□ 設備投資の動き

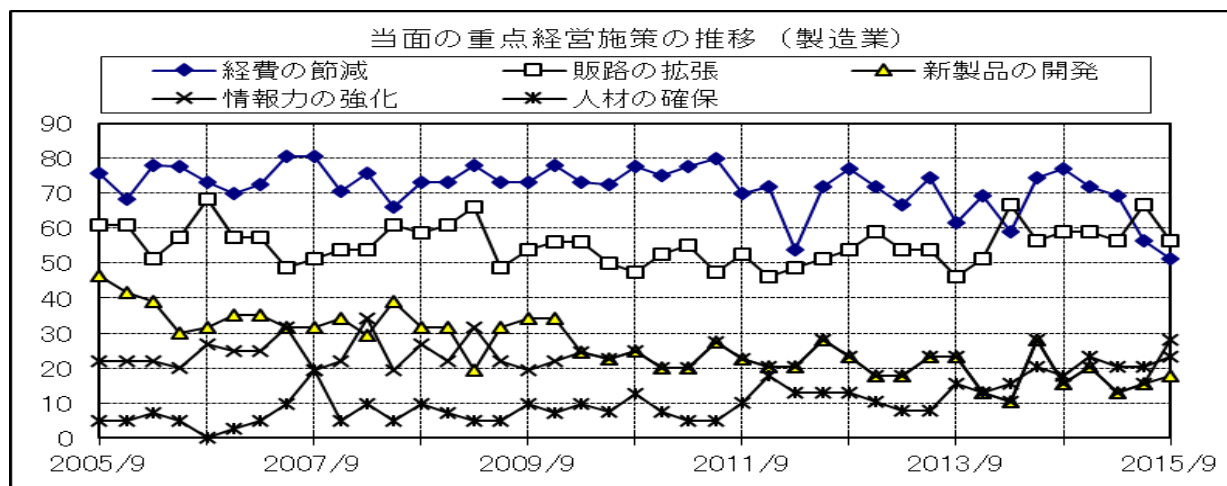
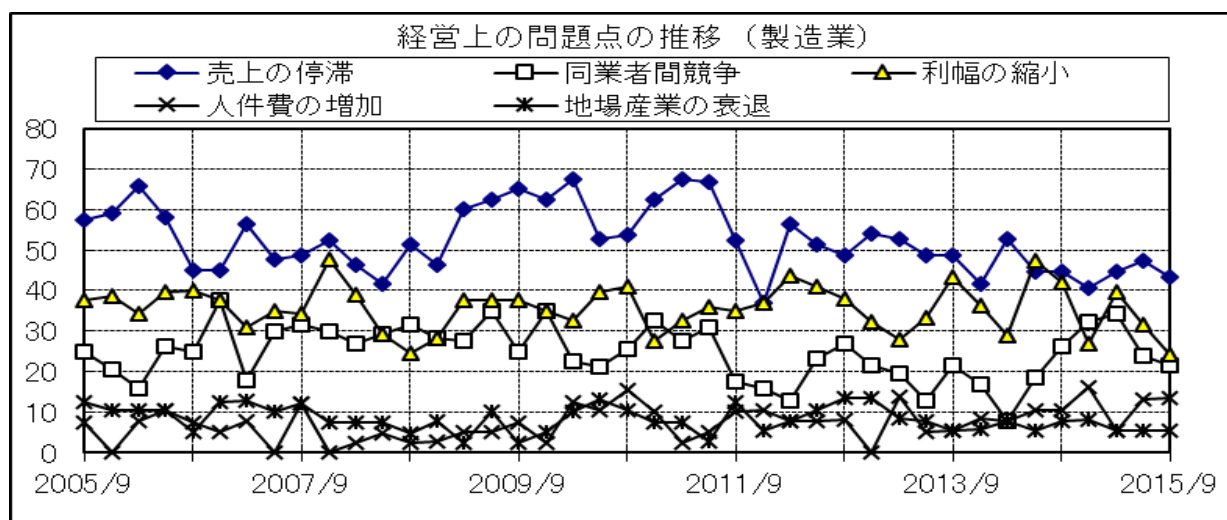
設備投資の充足感を示すD.I.は△17.9と、前期比15.3ポイント下降した。設備投資実施企業割合は38.5と、前期比20.6ポイント上昇。前期の7社に対し15社の実施となった。

来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」43.2%、「原材料高」35.1%、「利幅の縮小」24.3%、「同業者との競争」21.6%、となり「人手不足」・「工場機械の老朽化」・「天候の不順」が同率の16.2%で続いた。

重点経営施策では、「販路を広げる」56.4%をトップに挙げ、次いで「経費の節減」51.3%、「情報力を強化する」が28.2%、「人材を確保する」23.1%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は12.8と、今期比10.3ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は15.4と上昇幅が弱まり、今期比7.6ポイントの下降を見通している。

予想収益D.I.は25.6、今期比7.6ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は7.6とプラス値に転じ、今期比15.3ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D.I.は28.2と、今期比2.5ポイントの上昇を見通している。